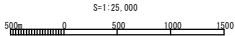
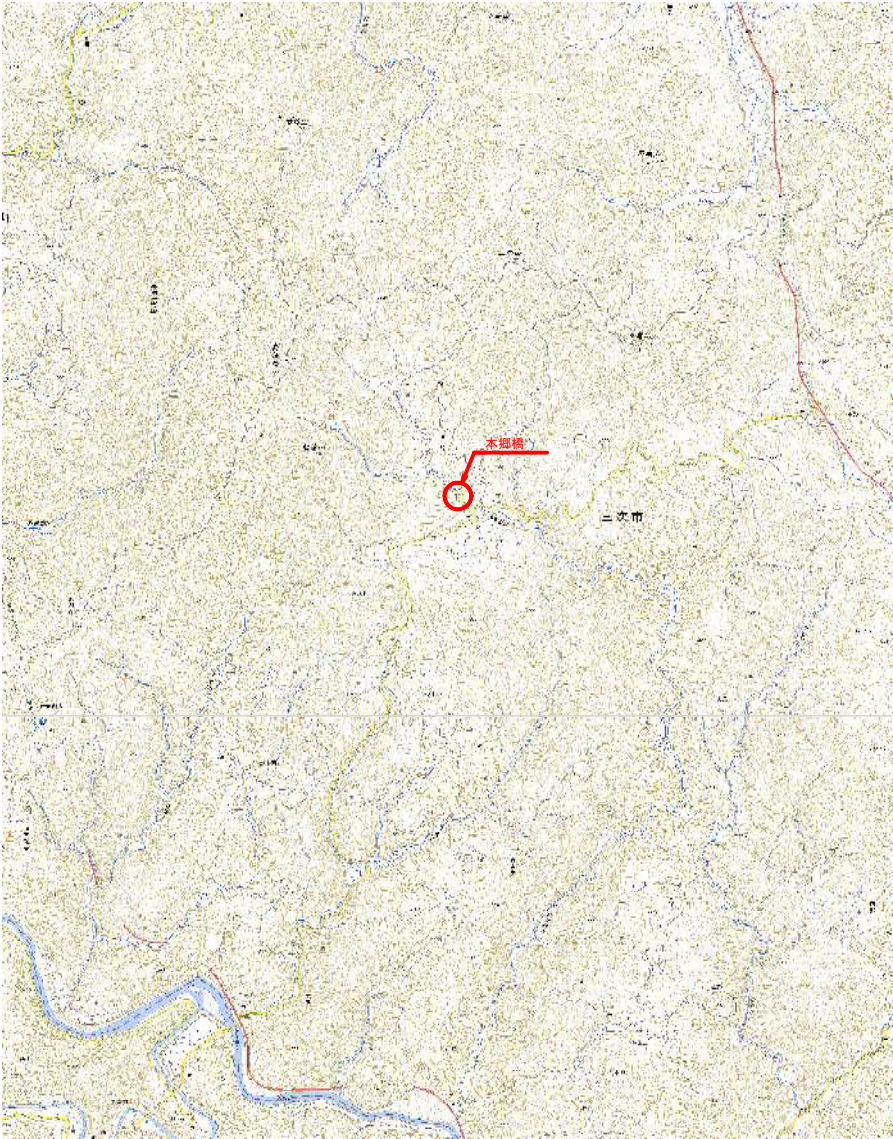


位置図

S=1:25000



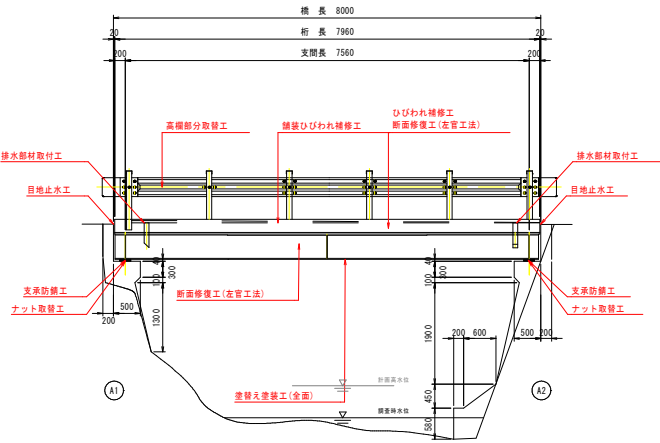
国土地理院発行 地形図「口羽町」(赤名)

【本郷橋】			
工事名	設計第24号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	位 置 図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

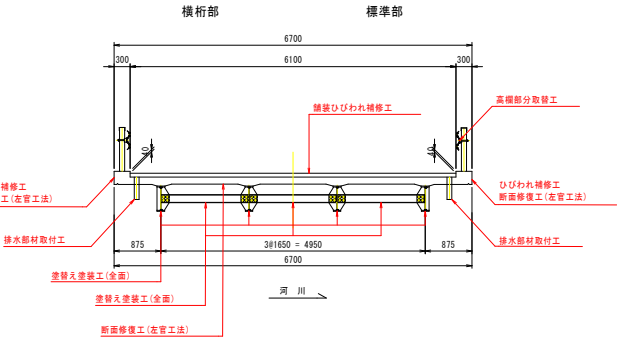
本郷橋 補修一般図

S=1:50

側面図



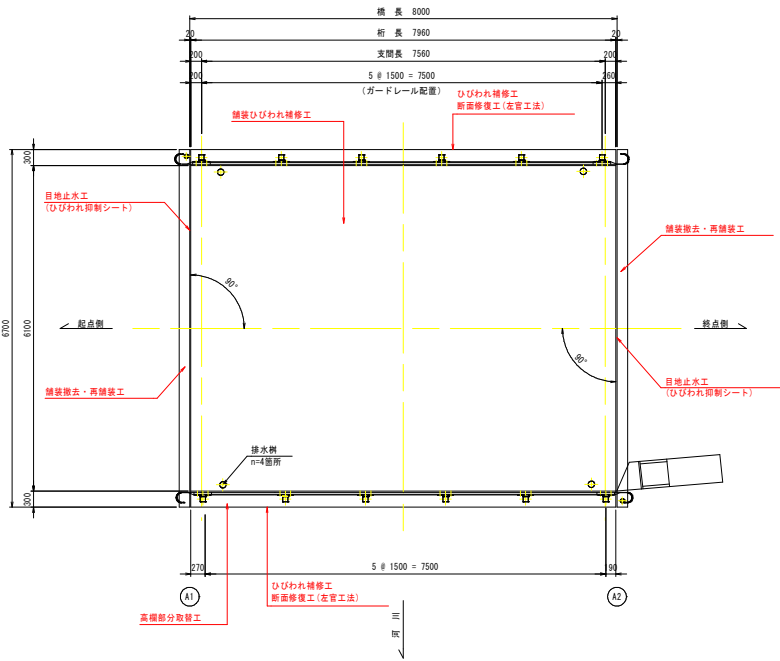
断面図



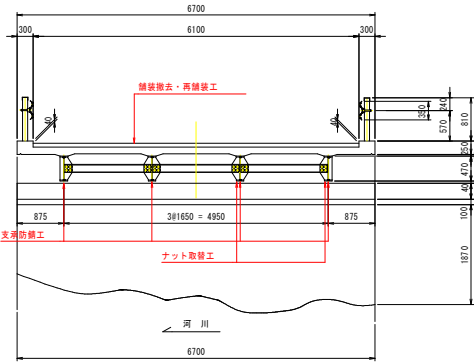
補修項目一覧表

部 位		工 種	損傷判定区分
上部工	床 版	断面修復工(左官工法)	C1
	主 桁	塗替え塗装工(全面) Rc-III	C1
	横 桁	塗替え塗装工(全面) Rc-III	C1
支承部	A1・A2橋台	支承防錆工、ナット取替工	C1、C2
	舗装	舗装撤去・再舗装工	C1、C2
路上	伸縮装置	目地止水工(ひびわれ抑制シート)	C1
	高欄	高欄部分取替工	C2
	地覆	ひびわれ補修工	C1
		断面修復工(左官工法)	C1
	排水管	排水部材取付工	C1

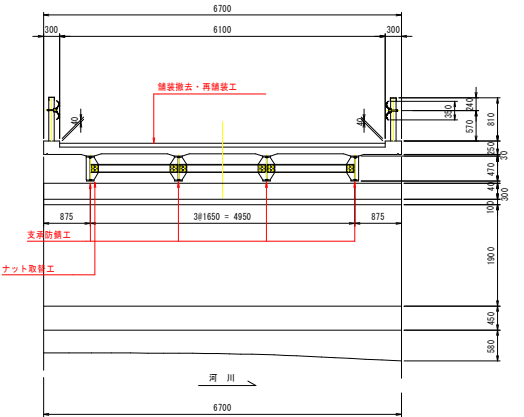
平面図



A1橋台



A2橋台



注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【本郷橋】

工事名	設計第24号 橋梁整備設計業務委託(15km未満)
図面名	補修一般図
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50 図面番号 2 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

本郷橋 補修図(その1)

S=1:30

1径間（桁下面）

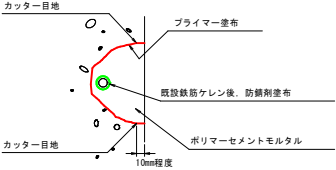
断面修復工（左官工法）, 部材取付工

凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

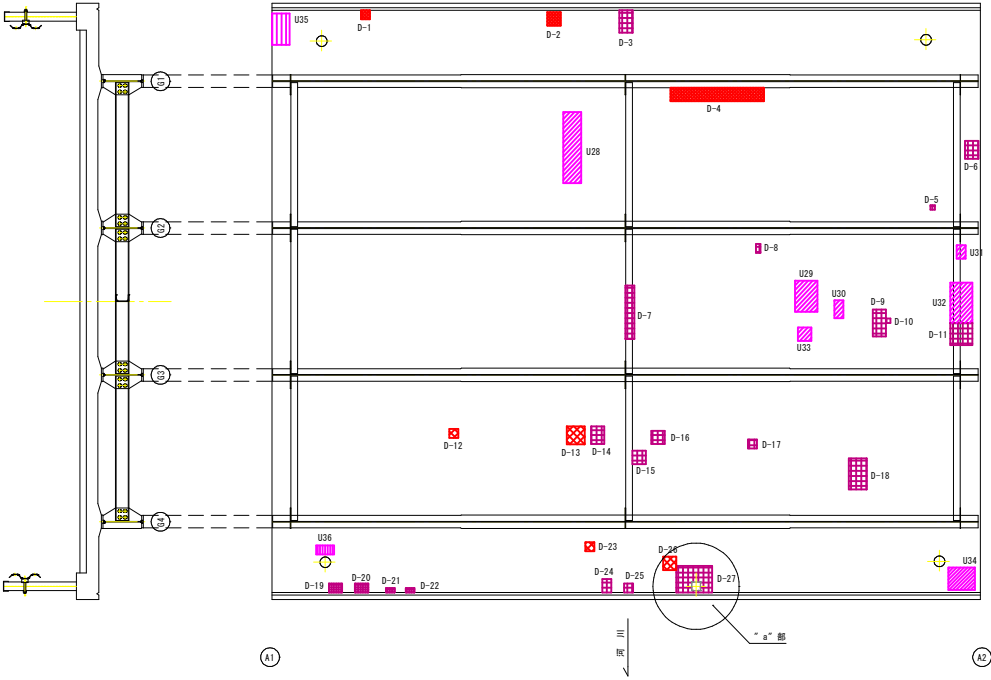
断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり厚は 50mm

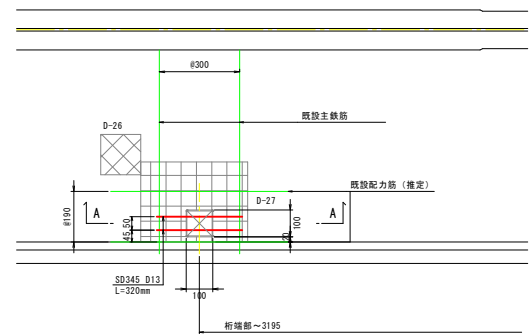
断面修復工数量表（左官工法）

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（床版）						
D-1	剥離	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-2	剥離	0.15	0.15	50	0.0230	0.00115
D-3	鉄筋露出	0.15	0.25	50	0.0380	0.00190
D-4	剥離	0.15	1.05	50	0.1580	0.00790
D-5	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-6	鉄筋露出	0.15	0.20	50	0.0300	0.00150
D-7	鉄筋露出	0.10	0.60	50	0.0600	0.00300
D-8	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-9	鉄筋露出	0.15	0.30	50	0.0450	0.00225
D-10	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-11	鉄筋露出	0.25	0.20	50	0.0500	0.00250
D-12	剥離	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-13	剥離	0.20	0.20	50	0.0400	0.00200
D-14	鉄筋露出	0.15	0.20	50	0.0300	0.00150
D-15	鉄筋露出	0.15	0.15	50	0.0230	0.00115
D-16	鉄筋露出	0.15	0.15	50	0.0230	0.00115
D-17	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-18	鉄筋露出	0.20	0.35	50	0.0700	0.00350
D-19	鉄筋露出	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-20	鉄筋露出	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-21	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-22	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-23	剥離	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-24	鉄筋露出	0.15	0.15	50	0.0230	0.00115
D-25	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-26	剥離	0.15	0.15	50	0.0230	0.00115
D-27	鉄筋露出	0.30	0.40	50	0.1200	0.00600
		0.10	0.10	40	0.0100	0.00040
D-28	うき	0.20	0.80	50	0.1600	0.00800
D-29	うき	0.25	0.35	50	0.0880	0.00440
D-30	うき	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-31	うき	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-32	うき	0.25	0.45	50	0.1130	0.00565
D-33	うき	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-34	うき	0.25	0.30	50	0.0750	0.00375
D-35	欠損	0.20	0.35	50	0.0700	0.00350
D-36	欠損	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
合計					1.4430	0.0721



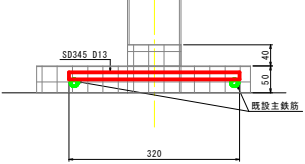
“a”部桁下平面拡大図

S=1:10



A-A 断面図

S=1:5



【本郷橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その1)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については図定、可能が現地計画で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

本郷橋 補修図(その2)

S=1:50

1径間（橋面）

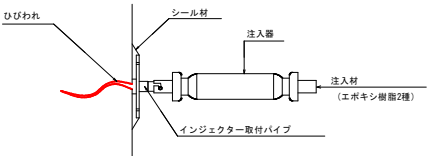
ひびわれ注入工, 断面修復工(左官工法)

凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

ひびわれ注入工詳細図



【ひびわれ注入工】
※ひびわれ0.2mm以上1.0mm未満に対して施工する。
※数量算出条件
・ ひびわれ深さ 120mm

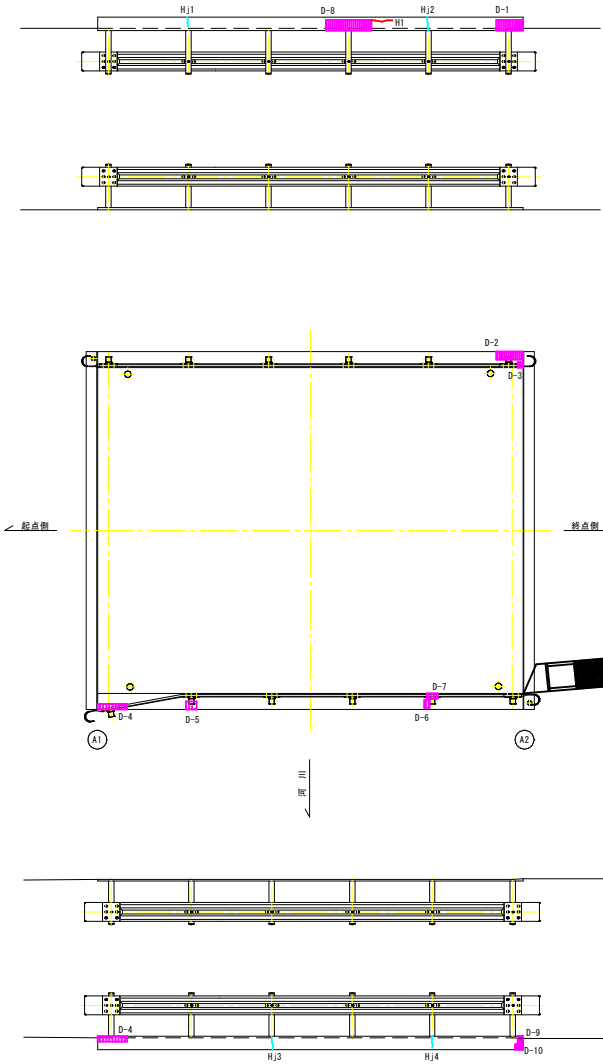
地覆くひびわれ注入工

記号	寸法	
	W (mm)	L (m)
H1	0.20	0.40
計		0.40

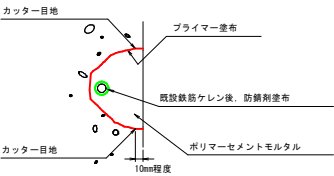
地覆くひびわれ注入工

損傷 番号	損傷	損傷範囲	
		ひびわれ 幅 mm	延長 mm
上部工(地覆)			
H1	遊離石灰	0.20	200
H2	遊離石灰	0.20	250
H3	遊離石灰	0.20	200
H4	遊離石灰	0.20	200
合計			850

※遊離石灰部ひびわれ幅0.20mm想定



断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・ はつり深さ 50mm

断面修復工数量表 (左官工法)

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（地覆）						
D-1	欠損	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-2	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-3	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-4	欠損	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-5	欠損	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-6	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-7	欠損	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-8	欠損	0.05	0.20	50	0.0100	0.00050
D-9	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-10	欠損	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
合計					0.1130	0.00565

【本郷橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)
図面名	補修図(その2)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50
図面番号	4 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

注記)
1) 本図は、橋梁定額点検調査を基に復元した。
2) 支保については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

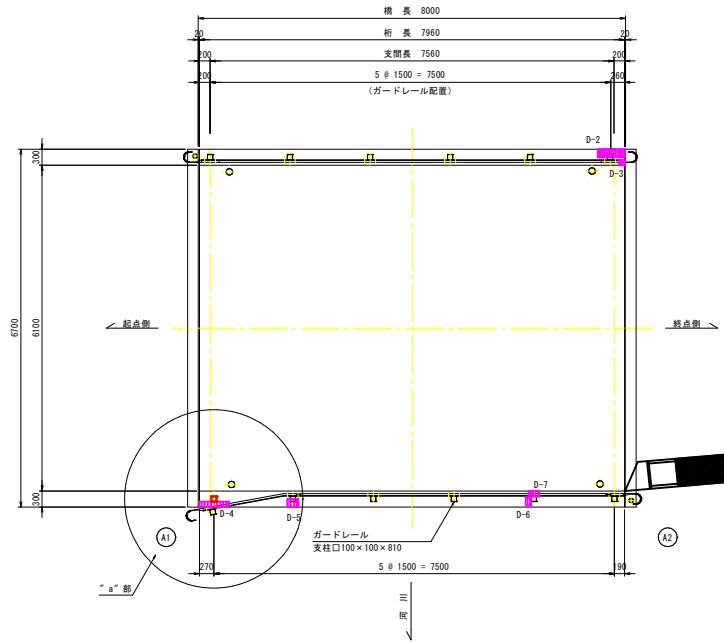
S=1:10

1径間(高欄)

部分取替工

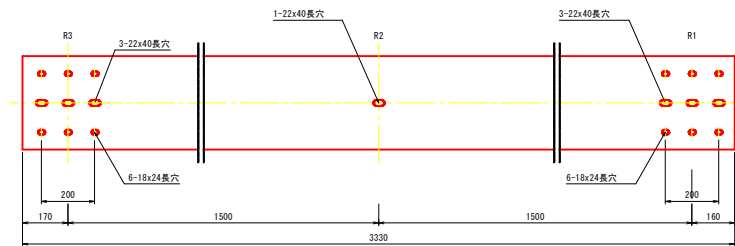
平面图

S=1:50



ビーム詳細図

S=1/10



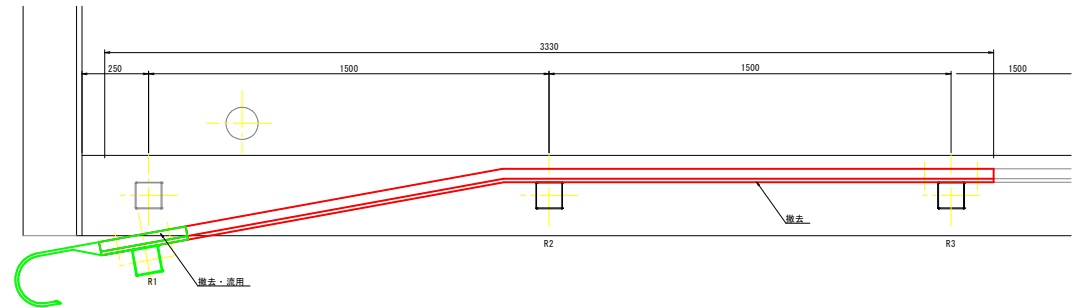
施工数量:1箇所

ビーム撤去: L=3.30m:1枚

ビーム設置: L=3.30m:1枚

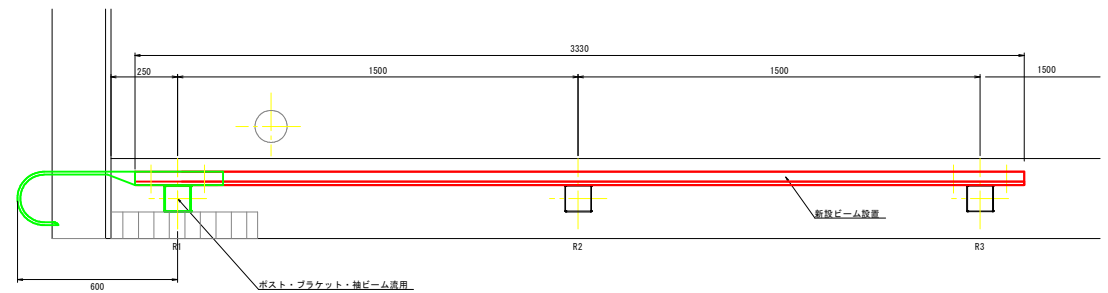
” a” 部部材撤去工詳細図

S=1:10



“ a ” 部部材設置工詳細図

S=1:10



※地覆欠損部の断面修復施工前に防護柵ポスト接続し断面修復施工のこと。

【本郷橋】

工事名	設計第34号 横浜警備設計業務委託(15名未満)		
図面名	補修図(その3)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:10、1:50	図面番号	5 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)

1)本図は、橋梁定期点検調書を基に復元した。

2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。

3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

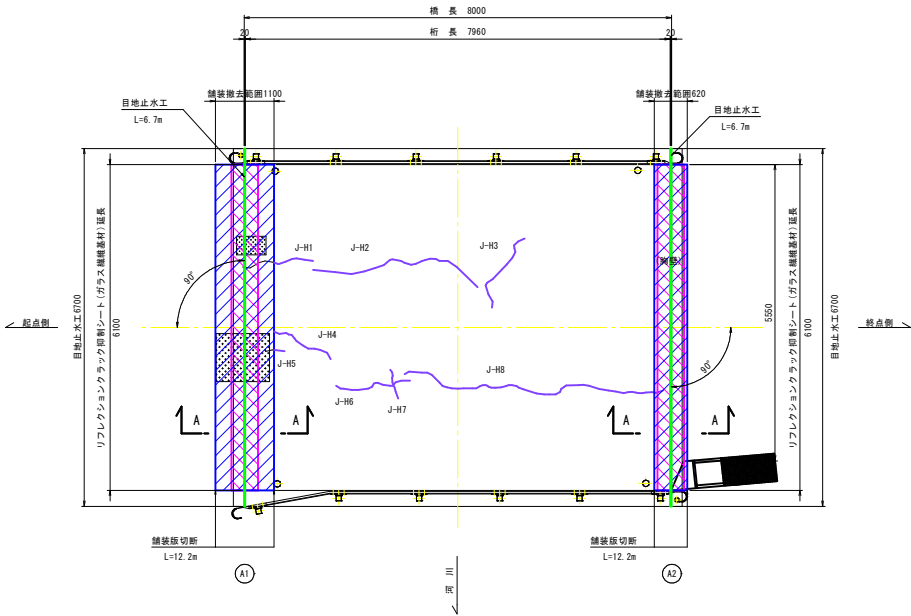
本郷橋 補修図(その4)

S=1:50

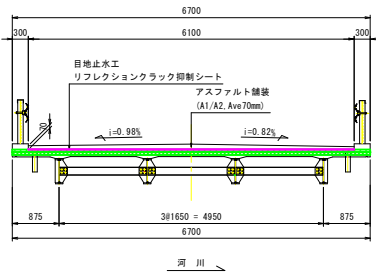
1径間（橋面）

舗装撤去・再舗装工, 舗装ひびわれ補修工, 目地止水工

平面図 S=1:50



断面図 S=1:50



舗装ひびわれ充填工数量

損傷 番号	損傷	損傷範囲	
		幅 mm	長さ mm
路上（舗装）			
J-H1	舗装の異常	3.00	800
J-H2	舗装の異常	3.00	3400
J-H3	舗装の異常	3.00	1700
J-H4	舗装の異常	3.00	1300
J-H5	舗装の異常	3.00	200
J-H6	舗装の異常	3.00	1500
J-H7	舗装の異常	3.00	600
J-H8	舗装の異常	3.00	5150
合計			14650

舗装破砕工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	換 変
舗装板切断	アスファルト舗装板 15cm以下	m	24.4	
舗装破砕工	アスファルト舗装板 15cm以下 t=70mm（想定値）	m ²	10.5	
致運搬	アスファルト致	m ³	0.73	
致処分	アスファルト致	m ³	0.73	W=1.72t

舗装補修工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	換 変
表層	密粒度(20)、プライムコート t=70mm	m ²	10.5	

目地止水工数量表

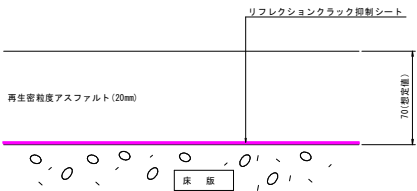
細 別	規 格	単位	数 量	換 変
リフレクションクラック抑制シート	W=500 ガラス繊維基材	m	12.2	
シール材	変性シリコン	?	13.4	
バックアップ材		?	13.4	

凡 例

（損傷の形状寸法の単位はmmとする。）

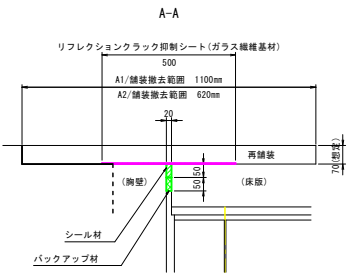
表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ（開口幅0.2mm未満）
	ひびわれ（開口幅0.2mm以上 5mm未満）
	ひびわれ（開口幅0.5mm以上 1.0mm未満）
	ひびわれ（開口幅1.0mm以上）
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	凹陥・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・増積
	補修済及び健全

舗装構成図



端部処理詳細図

S=1:10



注記)
1) 本図は、橋梁定規点検調査を基に復元した。
2) 支保については調査、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【本郷橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)
図面名	補修図(その4)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50, 1:5 図面番号 6 / 12
会社名	中電技術コンサルタンツ株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

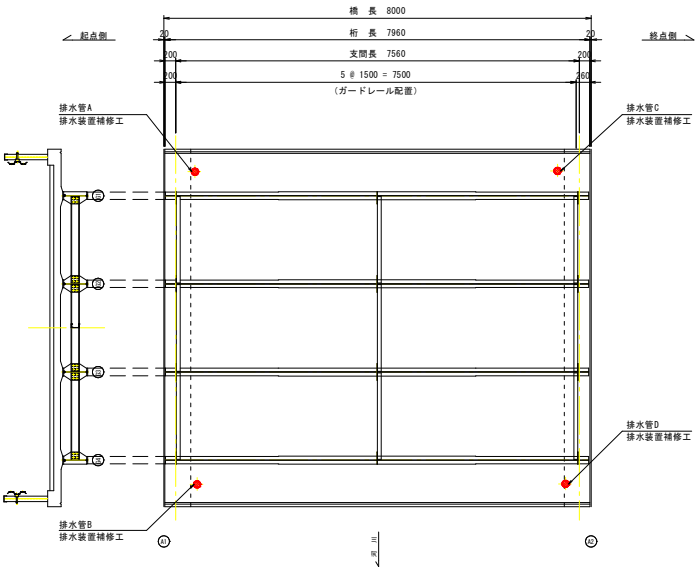
本郷橋 補修図(その5)

S=1:50

1区間（橋面）

排水部材取付工

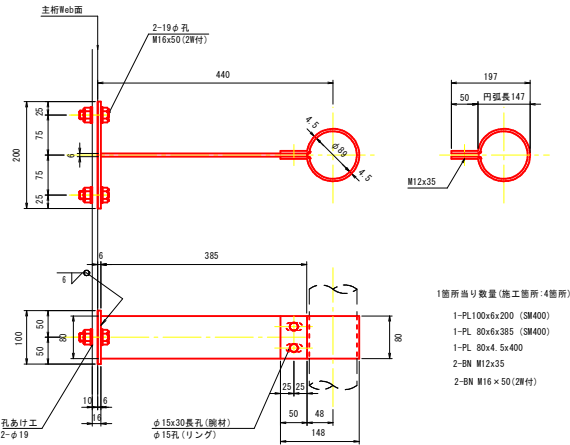
平面図



排水管支持金具

(主桁取付)

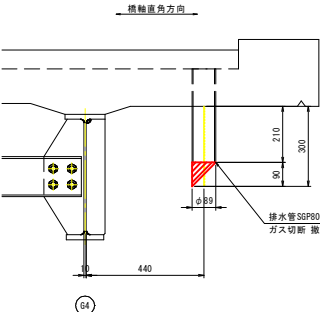
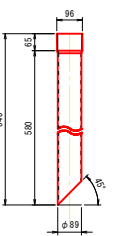
S=1:5



加工管

S=1:10

VP75(スリブ加工)
<製作数:3>



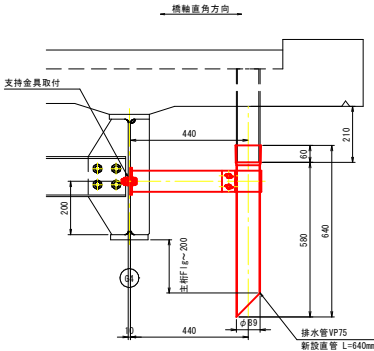
撤去数量

- ・ガス切断工
L = 89.1 x π x 4 = 1.12m
- ・鋼材 SGP80A(単位重量8.79kg/m)
L = 0.09 x 4 = 0.36m
W = 0.36 x 8.79 = 3.16kg

排水部材取付工

S=1:10

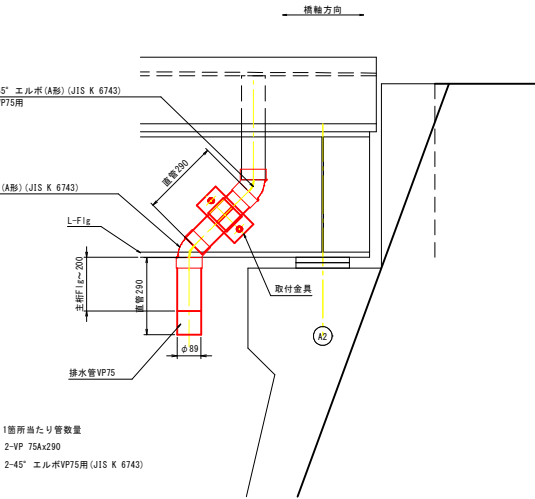
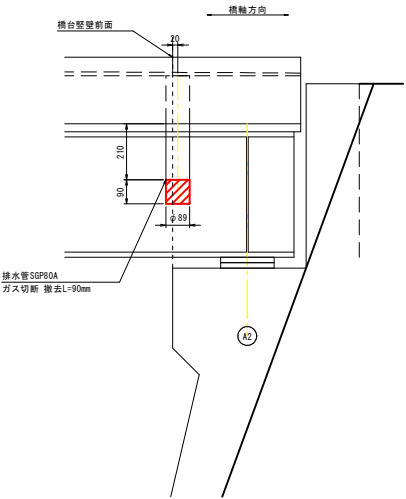
排水管(A/B/C)



排水部材取付工

S=1:10

排水管(D)



1箇所当り管数量

- 2-VP 75x4x290
- 2-45° エルボVP75用 (JIS K 6743)

施工手順



注記

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査と現地調査結果を基に作成した。
 - 2) 支保については図定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
 - 3) 補修工事に当り、寸法等は再度現地検閲を行って確認すること。
 - 4) 特記なき鋼材は全てSS400とする。
 - 5) ボルト孔は、メッキ付着量を考慮しボルト径+3mmを基本とする。
 - 6) 鋼部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
- 亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0235~H0255とする。
ただし、ボルト・ナット類はH0235とする。


【本郷橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15年未満)
図面名	補修図(その5)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	図示 図面番号 7 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

S=1:30

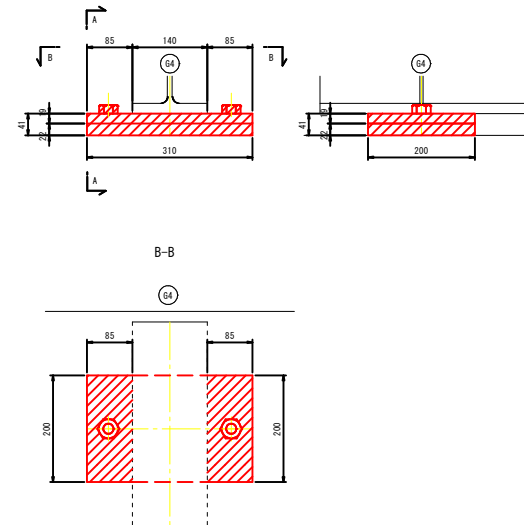
(1橋当り)

名称	规格	单位	数量	备 考
现场安装工	壹拾元安装工	m2	51.26	· 支承本体6基含心

D		塗替え塗装工
---	---	--------

S=1:5

A-A



※ 部材の角部は膜厚の確保がしにくい箇所であるため、半径2R以上の曲面仕上げを行い、一般部と同等の塗膜性能を得ること。
(出典：鋼道路橋防食便覧 平成26年3月 II-48 より)

工事名	設計第34号 横浜警備設計業務委託 (15未満)		
図面名	補修図 (その6)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30、1:5	図面番号	8 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
- 2) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- 3) 取付金具やボルト等によるみ、脱落がある場合は、復旧を行うこと。

Figure 1: Relationship between soil compaction and soil moisture. The diagram shows a red line representing the relationship between soil compaction (x-axis) and soil moisture (y-axis). The red line starts at a high moisture level for low compaction and decreases as compaction increases. A black line shows the relationship, starting at a low moisture level for low compaction and increasing as compaction increases. The two lines intersect at a point labeled '適湿状態' (Optimal moisture state). The area above the red line is labeled '過湿状態' (Over-saturated state), and the area below the black line is labeled '乾燥状態' (Dry state). The area between the two lines is labeled '適湿状態' (Optimal moisture state). The diagram is titled '図1 土の締め固めと土の水分の関係' (Figure 1: Relationship between soil compaction and soil moisture).

塗装工程	塗料名	使用量 (g/㎡)	標準塗膜 (μm)	塗膜間隔
素地調整	塗膜刮削剤	-	-	5分以上
下塗り1層目	溶剤系弾性エポキシ樹脂塗料下塗り (鋼材露出部のみ)	(200)	60	4時間以内
下塗り2層目	溶剤系弾性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	60	4時間以上 10日以内
下塗り3層目	溶剤系弾性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	60	4時間以上 10日以内
中 塗	溶剤系ふっ素樹脂塗料中塗り	140	30	16時間以上 10日以内
上 塗	溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗り	120	25	16時間以上 10日以内

※3) サンダーケレンは、ジスクペーパー又は鋼製ホイールカップにてアンカーブローフィンの作成及び除錆を行う。
ワイヤーカップブラシは、凹凸面のみ使用を許可とする。
ディスクサンダーは吸塵式タイプを使用し、
錆部及び表面全体ををケレンする。
エッチングブライマー・シンクリッチブライマー・シンクリッチペイントの層の活量は残しても良い。
サンダーケレン後に割剝剤が残るボルト部等は
脱脂洗浄を行い割剝剤を除去する。

```

graph TD
    A[準備工  
足場工] --> B[現地設置工  
塗膜剝離剤塗布  
一脱脂洗浄]
    B --> C[橋梁空洞部浮出分析試験]
    C --> D[下塗1層目(増塗り含む)]
    D --> E[下塗2層目]
    E --> F[中塗1回]
    F --> G[上塗1回]
    G --> H[養生]
    H --> I[足場等撤去]
  
```

- ※ 鉛中毒障害予防規則に基づき作業を行う周辺住民及び河川の環境汚染に充分な配慮を行うものとする。
- ※ 塗装方法はけ、ローラーとする。
- ※ 塗装除去方法としては、環境への影響が少ない剥離剤を使用し除去すること。
- ※ 素地調整の種別は3種ケレン同等とする。
- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 塗装量は標準使用量以上とする。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗面が濡れないこと。
- ※ 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

本郷橋 補修図(その7)

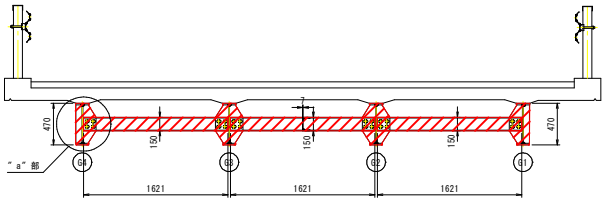
S=1:30

1径間(桁下面)

塗替え塗装工詳細図

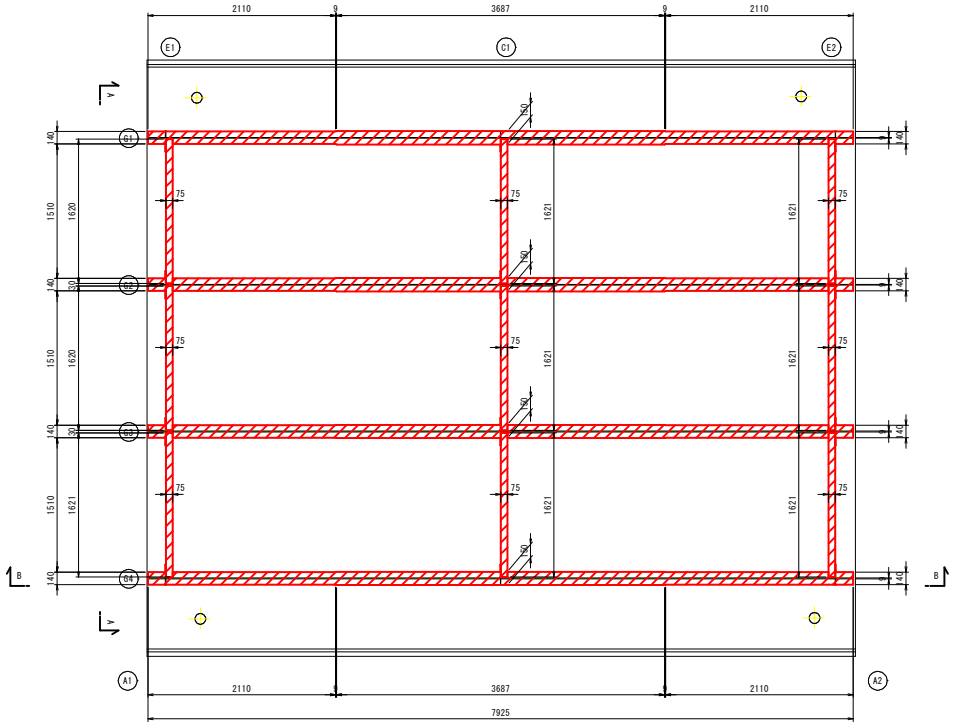
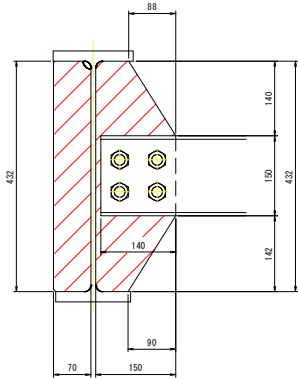
桁下面

A-A 断面図

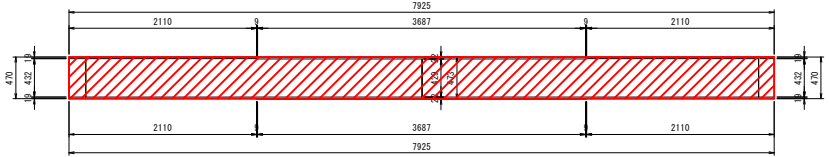


“a”部詳細図

S=1:10



B-B 主桁側面



注記)
1) 本図は、精査定期点検調査、現地調査を基に復元した。
2) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
3) 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

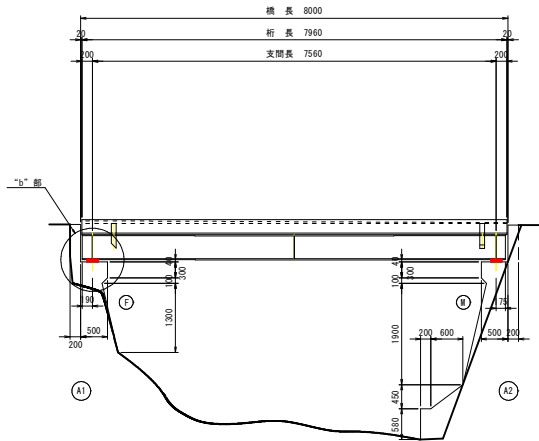
【本郷橋】			
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その7)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30, 1:10	図面番号	9 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

本郷橋 補修図(その8)

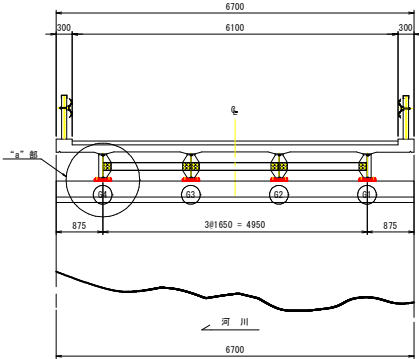
S=1:50

ナット取替工, 支承防錆工詳細図(1)

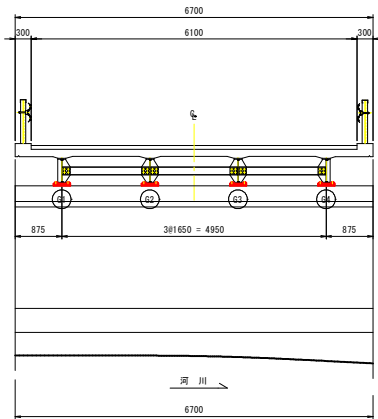
側面図



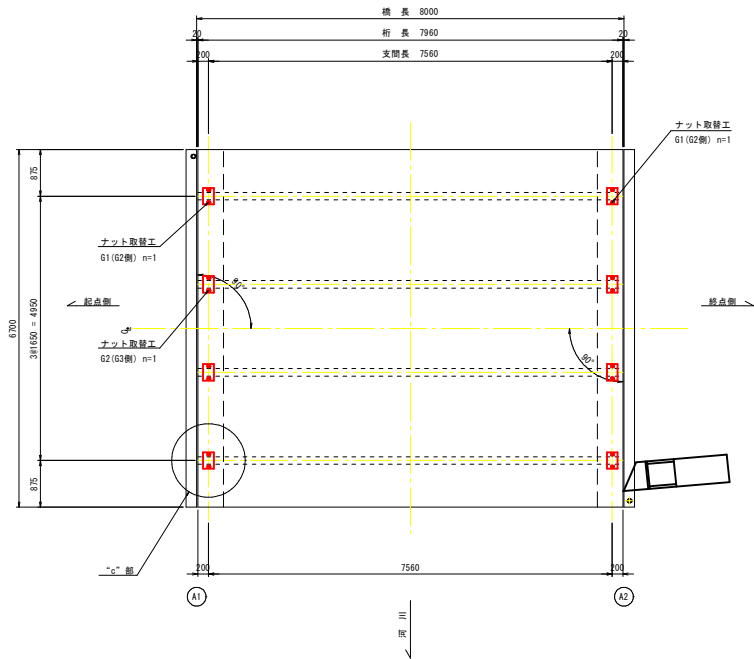
A1橋台



A2橋台



平面図



ナット取替工数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
ナット	M24	個	3	S5400

注記)
1) 本図は、橋梁定規点検調査を基に復元した。
2) 支床については調査、可動が現地計画で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【本郷橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務受託(15m未満)		
図面名	補修図(その8)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	10 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

本郷橋 補修図(その9)

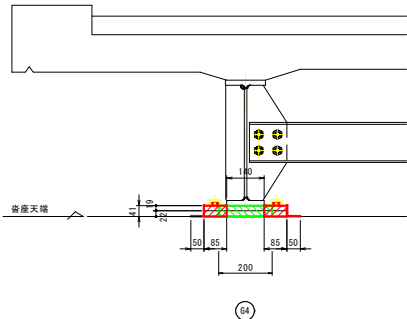
S=1:10

支承防錆工詳細図(2)

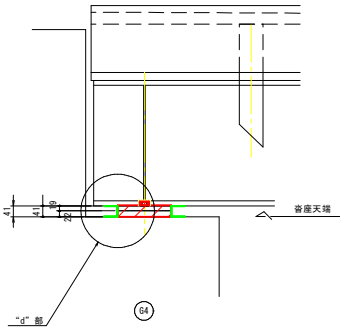
凡例

補修工法	
	：高機能超耐久性防食防水テープ貼付部①
	：高機能超耐久性防食防水テープ貼付部②
	：高機能超耐久性防食防水テープ貼付部③

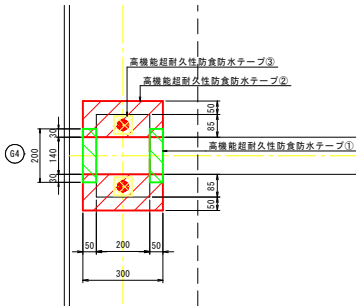
“a”部正面詳細図



“b”部側面詳細図



“c”部平面詳細図



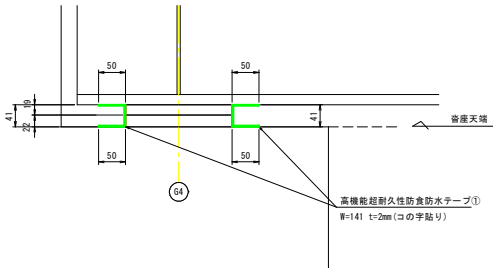
高機能超耐久性防食防水テープ設置数量表

	部位名	規格	単位	数量	箇所数	小計
①	正面	141 × 200 t=2mm	m ²	0.028	16	0.451
②	側面	176 × 382 t=2mm	m ²	0.067	16	1.076
③	ボルト部	100 × 100 t=2mm	m ²	0.010	16	0.160
合 計 面 積						1.687

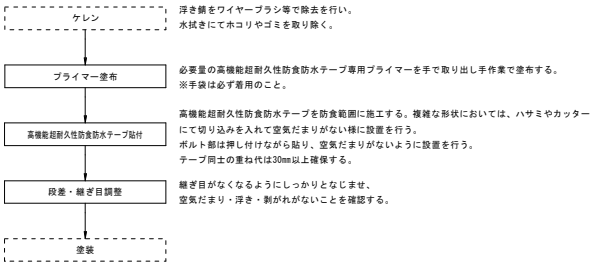
貼付詳細図

S=1:5

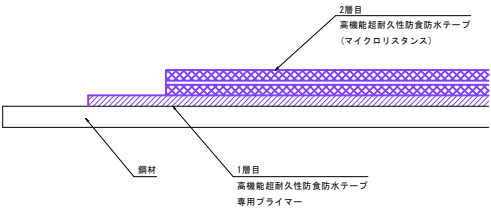
“d”部



高機能超耐久性防食防水テープ設置工
フロー図



高機能超耐久性防食防水テープ
システム断面図



【本郷橋】

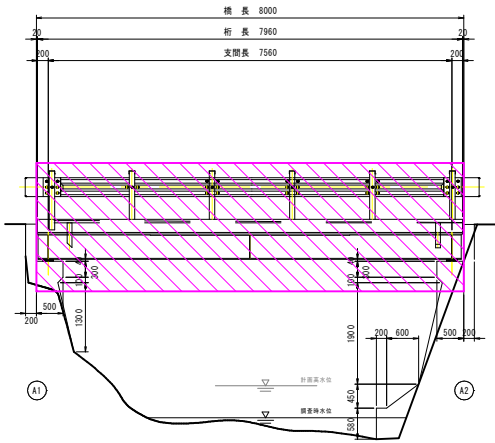
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)
図面名	補修図(その9)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:10, 1:5
図面番号	11 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

- 注記)
- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に作成した。
 - 2) 支保については、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
 - 3) 部材寸法は、施工前に現地で再確認のうえ、決定のこと。
 - 4) 支承防錆工の施工にあたっては、該箇所であるため手作業可能範囲で施工のこと。

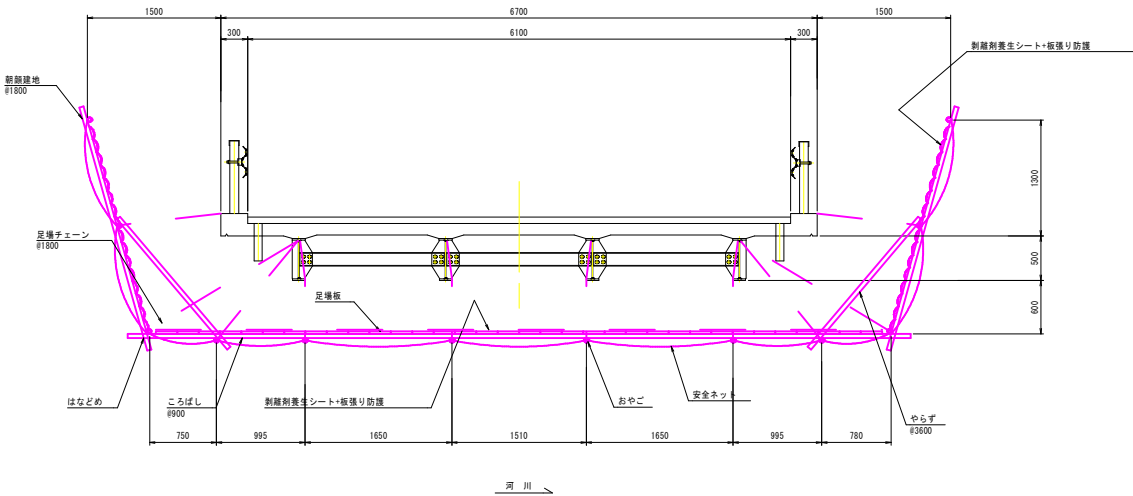
本郷橋 仮設計画図(参考)

S=1:50

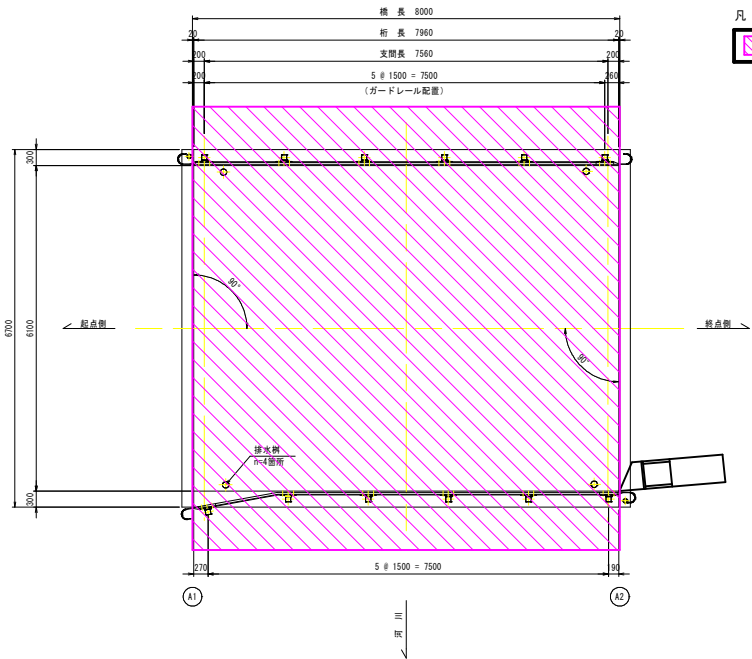
側面図 S=1:50



断面図 S=1:30



平面図 S=1:50

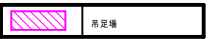


吊足場数量

$8.00 \times 6.70 = 53.60 \text{ m}^2$

合計 = 53.60 m²

凡例



注記

- 1) 本図は、概算定額点検調査、現地調査を基に復元した。
- 2) 仮設足場設置の際は、周辺状況を確認し、十分な安全確認を怠らないこと。
- 3) 施工の際は、周辺の利用者等の交通に支障をきたさないよう留意して施工のこと。

【本郷橋】

工事名	設計第24号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	仮設計画図(参考)		
作成年月日	令和5年3月		
縮尺	1:50, 1:30	図面番号	12 / 12
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業所名	三次市 建設部 土木課		